

二級河川 堀切川

平成21年度

第3回

三重県河川整備計画

流域委員会

平成21年7月28日

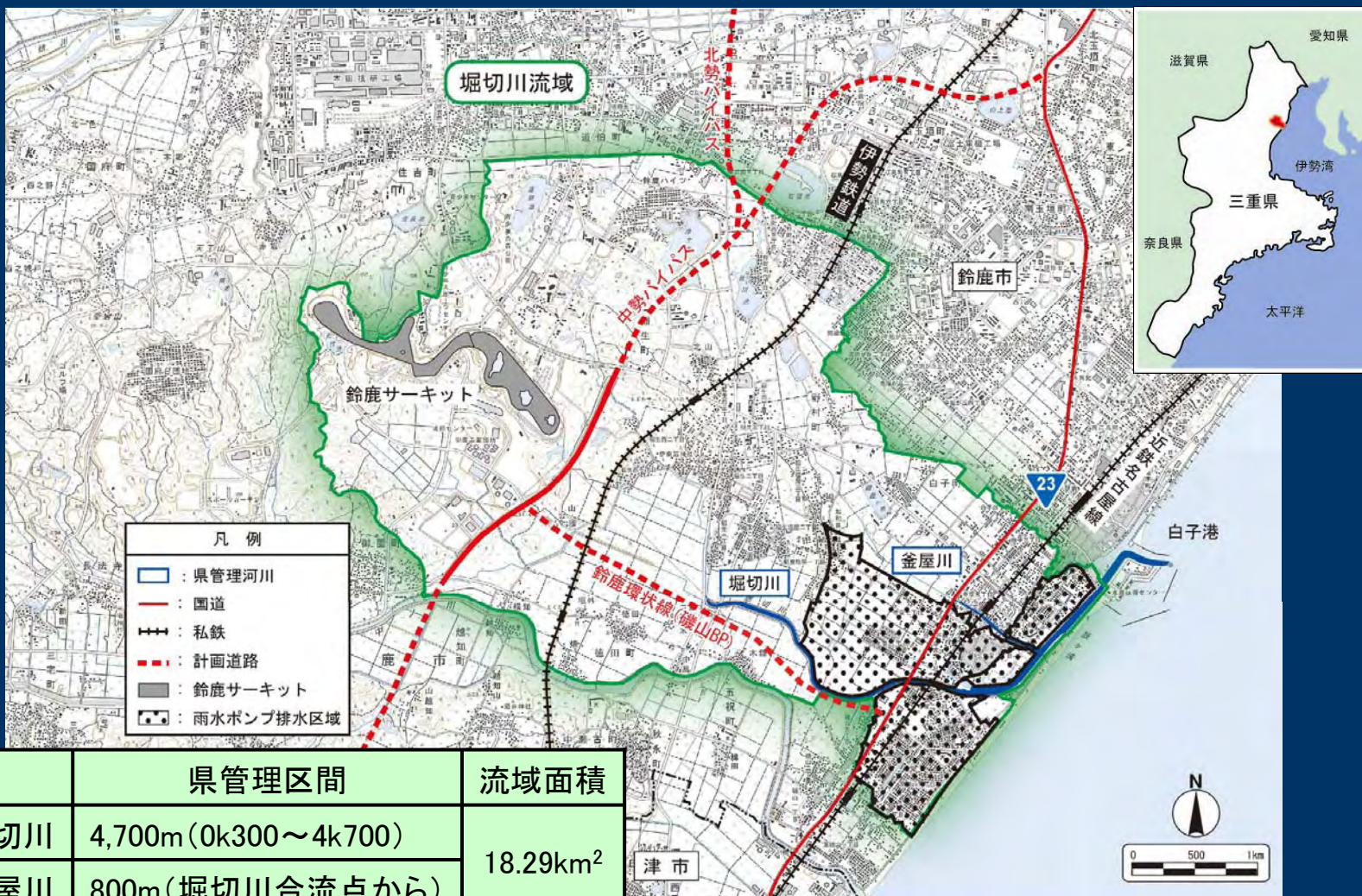
三重県

本日の議題

- 流域の概要
- 主要出水の概要
- 現行計画と整備状況
- 河川の現況
- 河川環境の概要

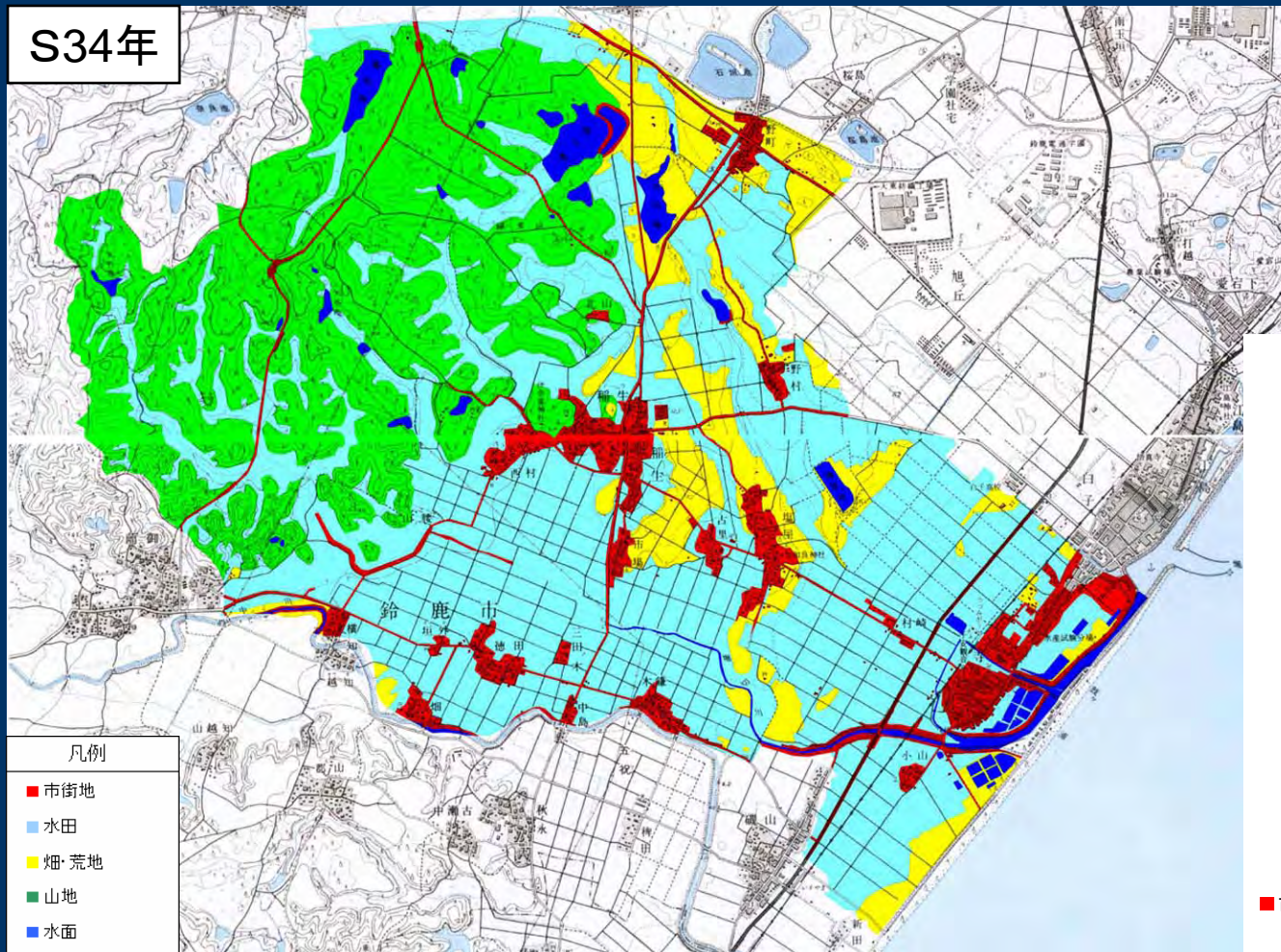
堀切川流域の概要(位置・諸元)

- 関係市：鈴鹿市
- 主要交通網：(道路)国道23号
(鉄道)近鉄名古屋線、伊勢鉄道

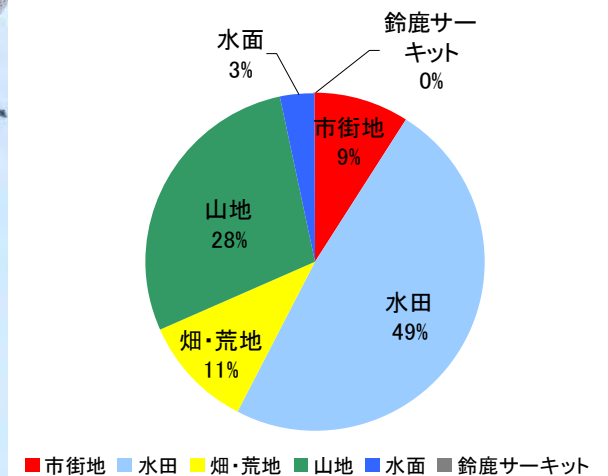


土地利用状況 (S34)

- 流域内の主な土地利用は水田(流域面積の約5割)と山地(流域面積の約3割)
- 市街地は流域面積の約1割

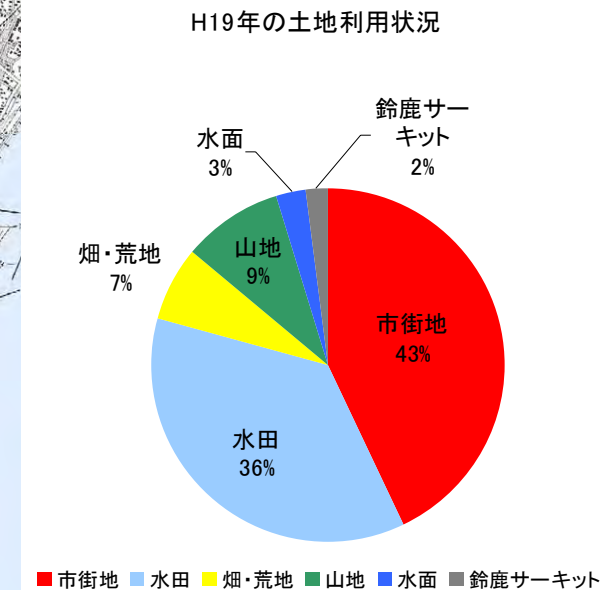
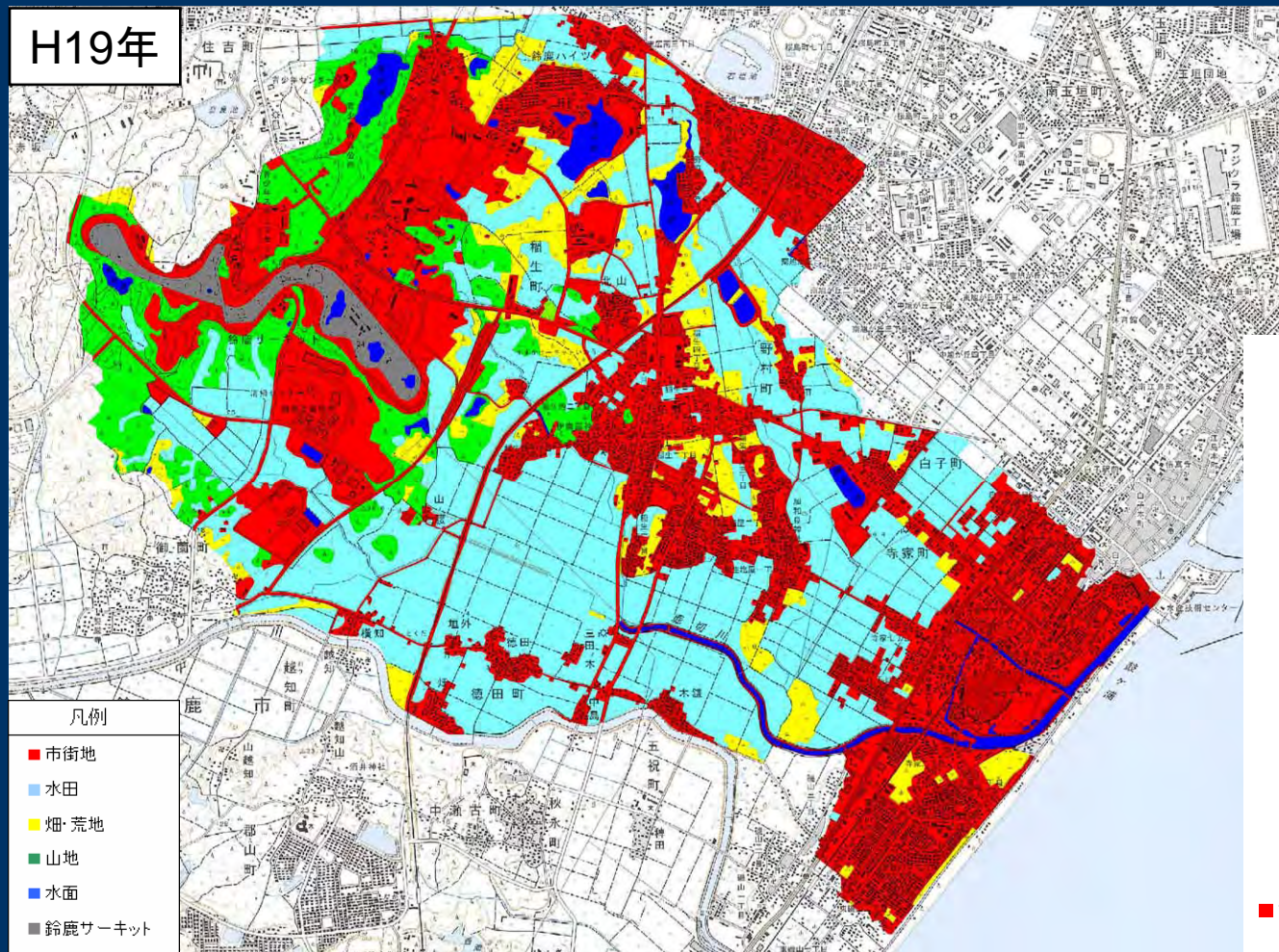


S34年の土地利用状況



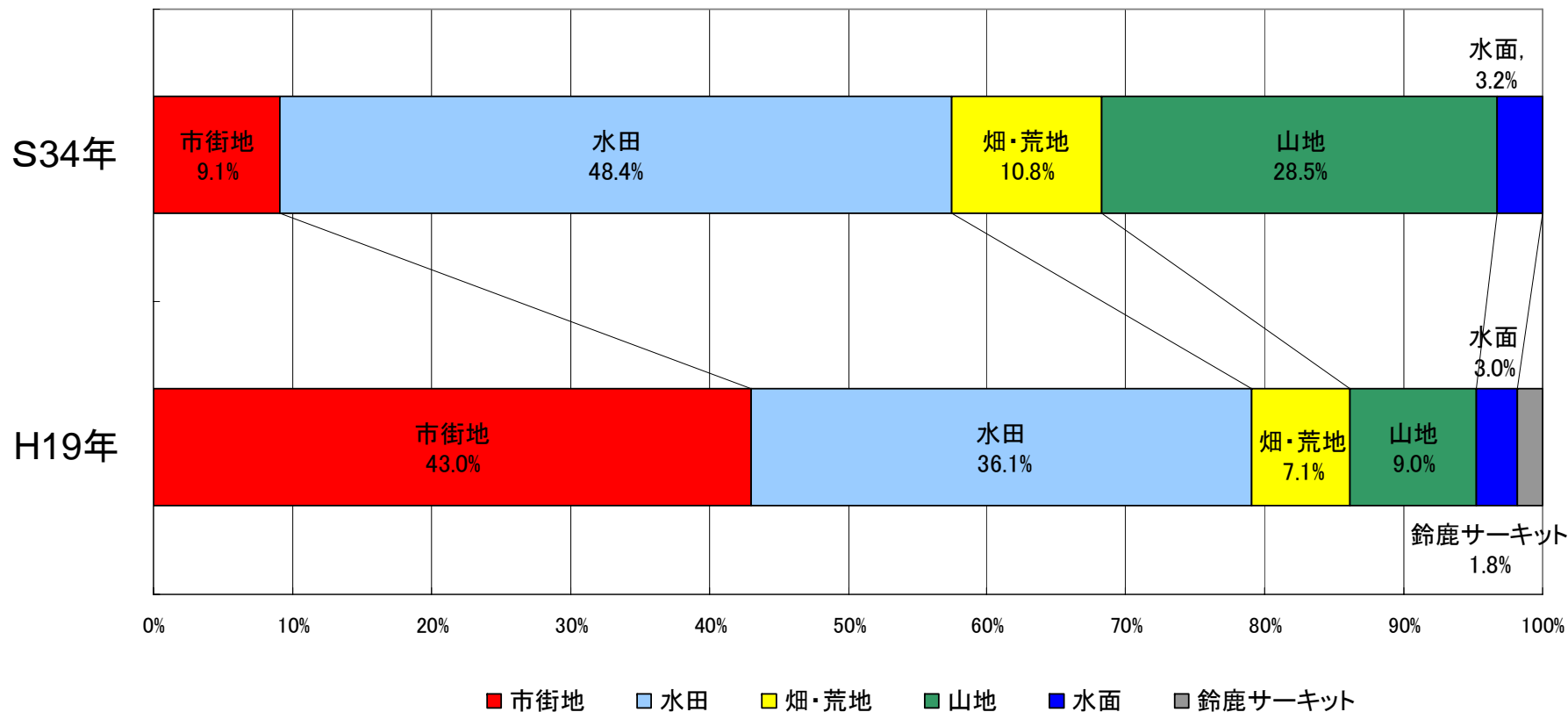
土地利用状況(H19)

- 現在(平成19年時点)の流域内の主な土地利用は市街地(流域面積の約4割)
- 水田は流域面積の約4割であり、山地は約1割



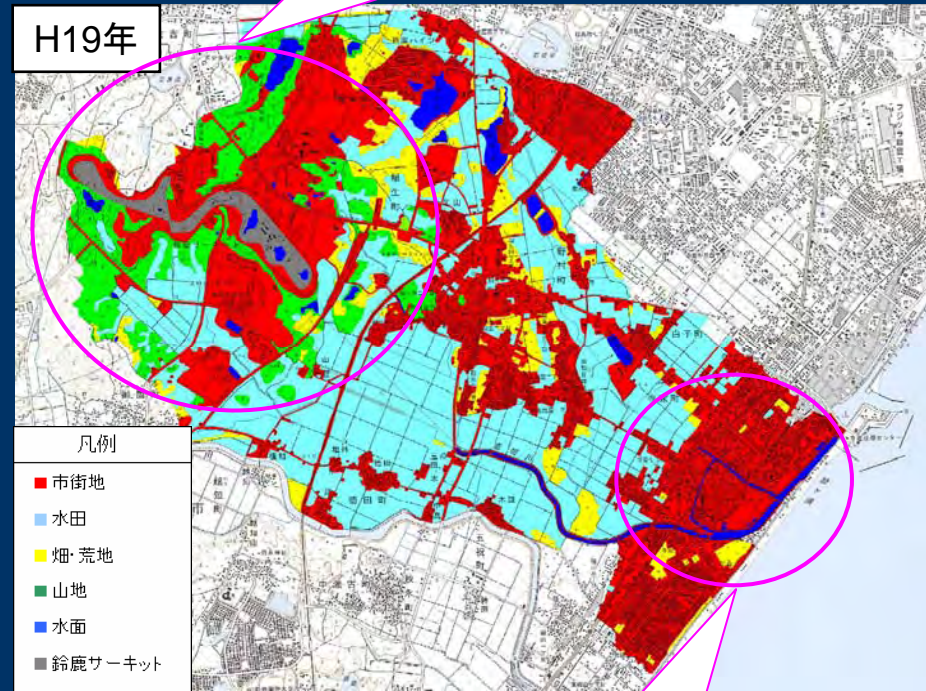
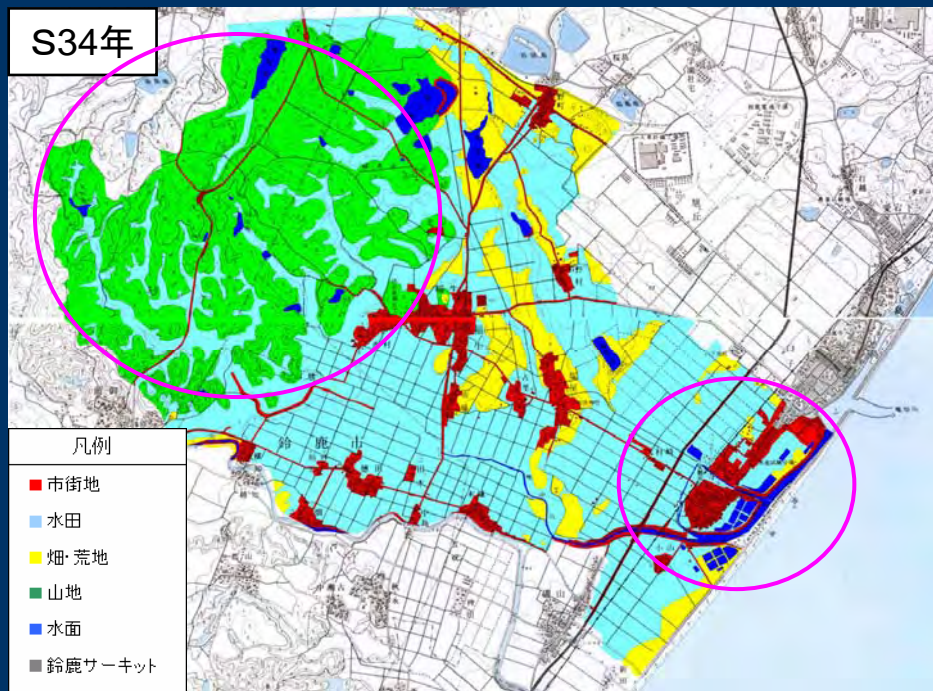
土地利用状況

- S34年からH19年において、水田や山地での開発、市街地化により、市街地が大きく増加



土地利用状況

- 上流の丘陵地で開発が進み、山地が減少
- 下流区間では養殖場が埋め立てられ、市街化が進行



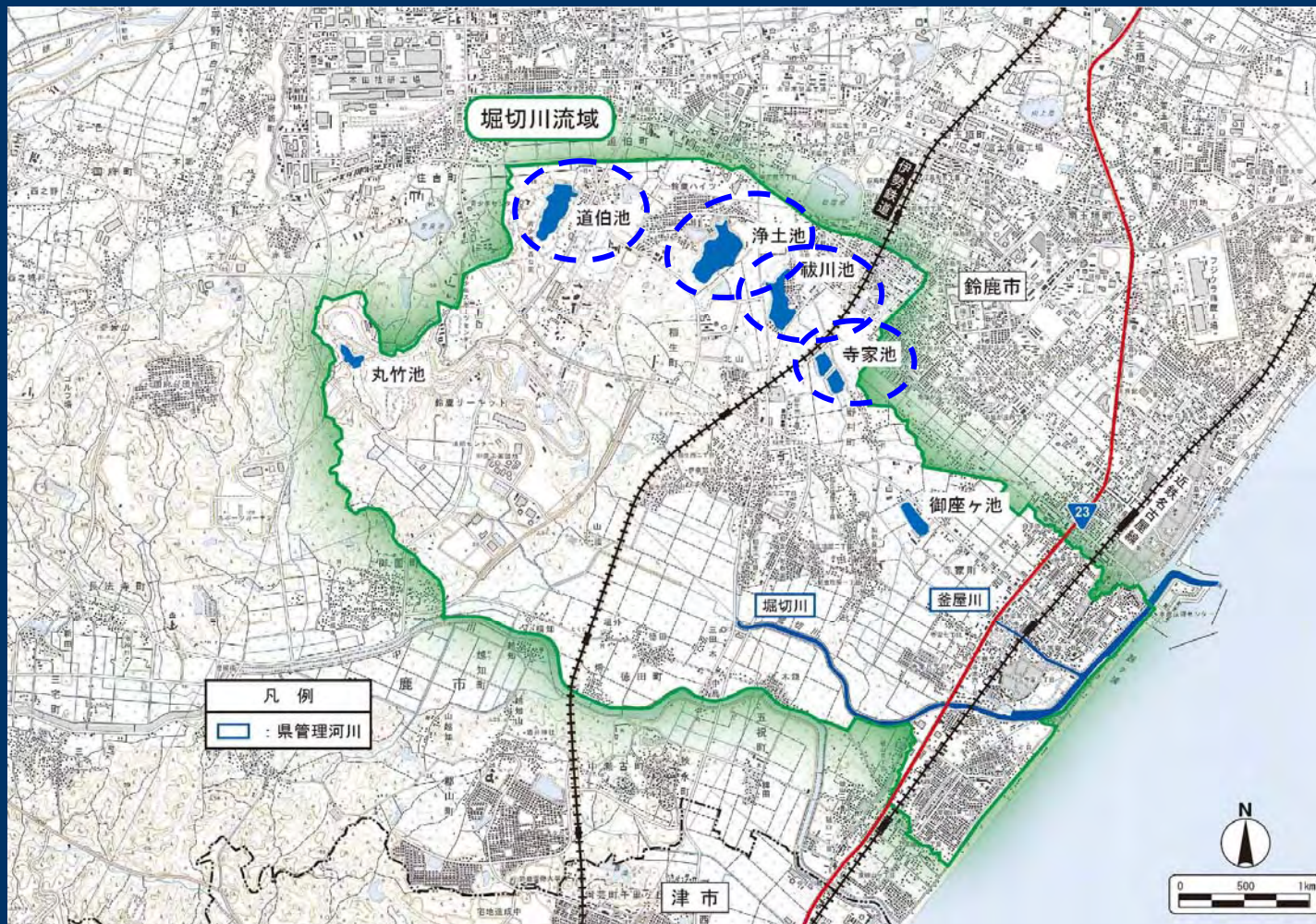
上流: 開発が進み、山地が減少

下流: 市街化が進行

防災ため池の概要

- 県営防災ダム事業※では、既存のため池に洪水調節機能を持たせる改修計画を立案
- 釜屋川上流に4箇所（道伯池、浄土池、祓川池、寺家池）の大規模なため池が存在

※三重県四日市農林商工環境事務所

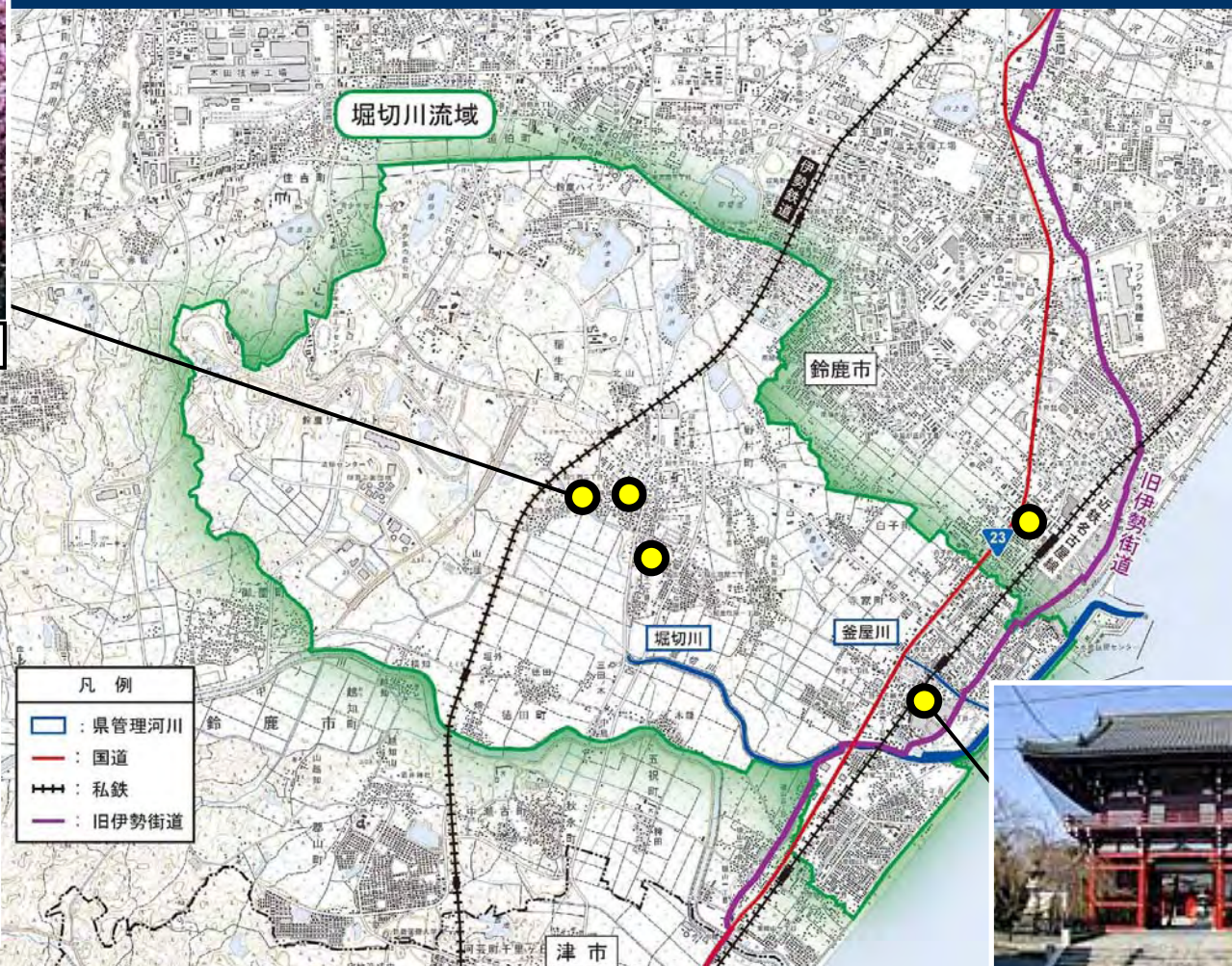


流域の文化・史跡状況

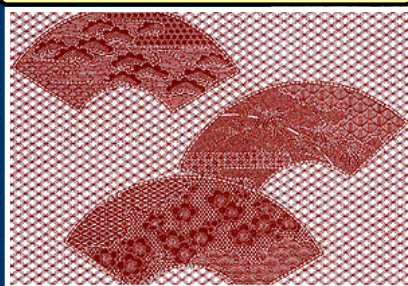
- 古くは伊勢街道が流域内を南北に縦断
- 堀切川流域には18点の指定文化財があり、伊奈富神社には平安時代以降の多くの文化財が存在



伊奈富神社



無形文化財



伊勢型紙



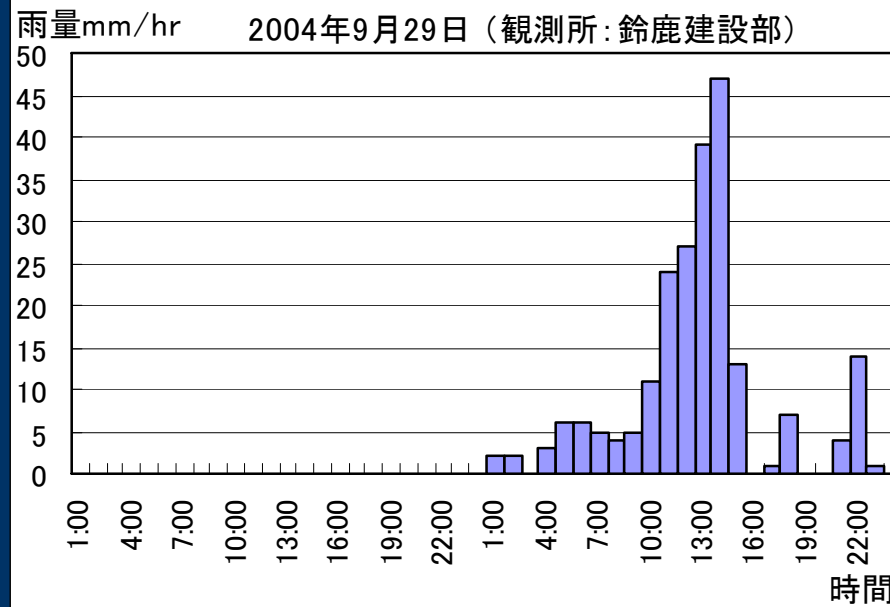
白子山観音寺(子安観音寺)

主要出水の概要(平成16年9月29日出水)

- 台風21号により、内水による浸水被害が発生
- 下流域で広い範囲が浸水

- 水害原因：内水
- 水害面積：約1,700ha
- 床上浸水：10戸
- 床下浸水：279戸

最大時間雨量：47mm 鈴鹿建設部



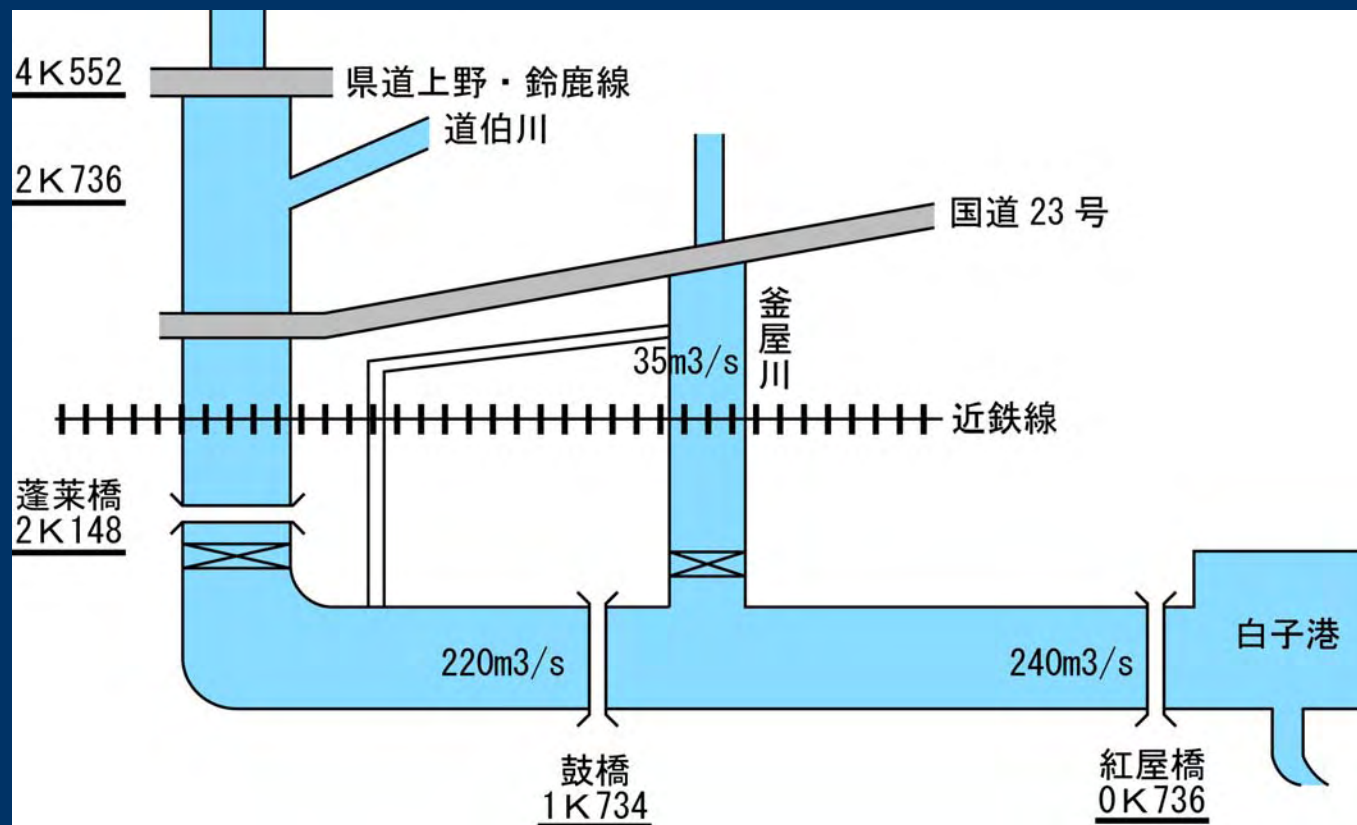
現行計画(工事実施基本計画)

- 平成9年11月に認可

➤ 計画規模 $W=1/30$

➤ 計画高水流量 $240\text{m}^3/\text{s}$

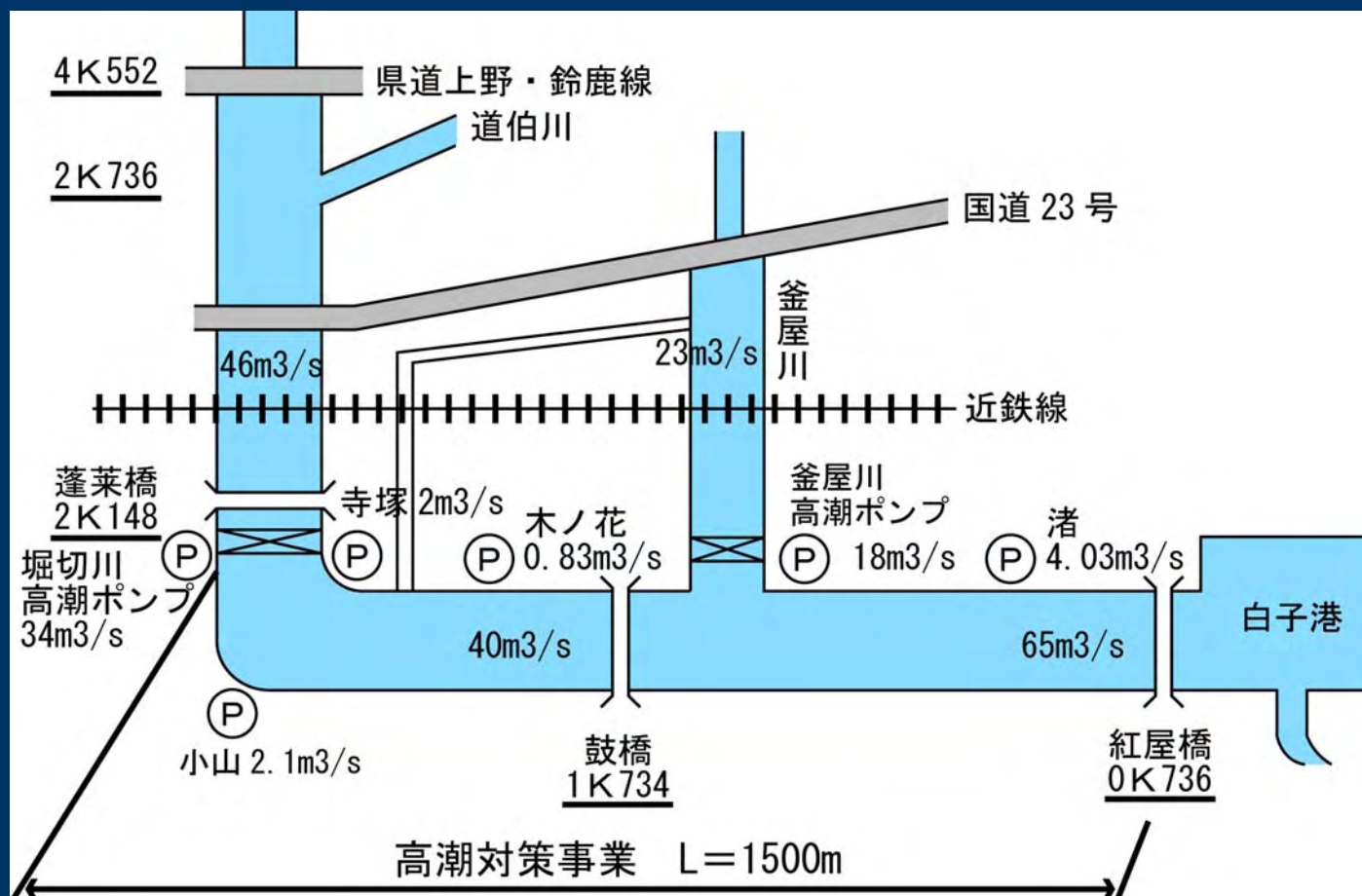
(基準地点：堀切川・紅屋橋地点)



現行計画(高潮対策事業全体計画)

- 平成7年3月に高潮対策事業として全体計画が立案

- 計画規模 $W=1/30$ (伊勢湾台風実績)
- 計画高潮位 T.P.3.54m



現行計画(下水道計画)

- 堀切川流域は三重県の北勢沿岸流域下水道（南部処理区）により整備を実施

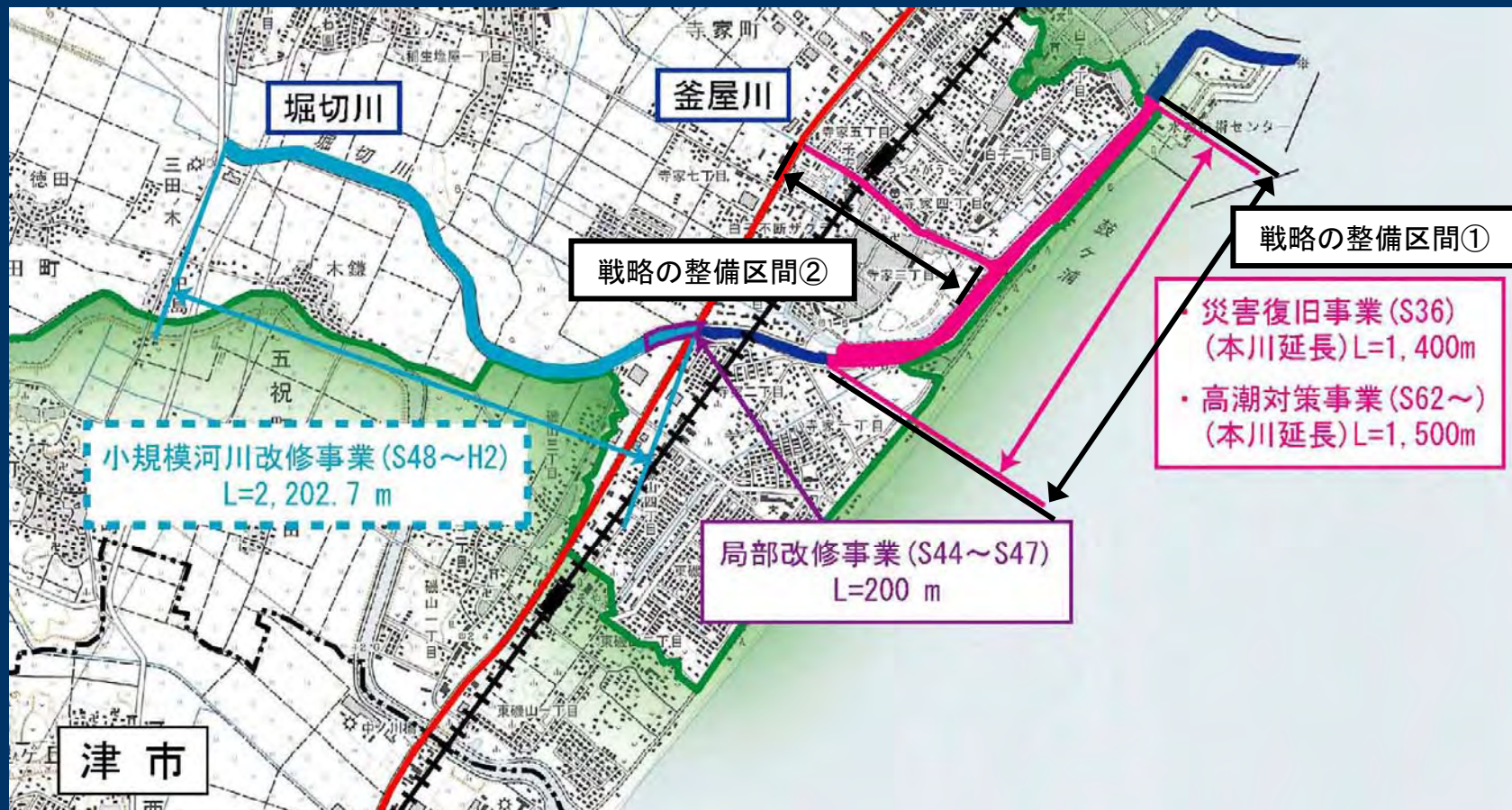
ポンプ場名	位置	ポンプ流量(m ³ /s)	
		現況	下水道計画 (変更認可時)
錠之口	2.1K左	3.05	12.351
小山	2.0K右	12.2	12.2
木の花	1.9K左	0.61	-
渚	0.8K左	1.35	4.013

出典：H18北勢沿岸流域下水道事業計画(南部処理区) 変更認可申請書



整備状況

- 三重県河川整備戦略では、今後15年間に事業を実施する箇所を定めた



整備区間	延長(km)	整備規模	整備方針
①	1.5	完成	堀切川河口から高潮水門までの区間内完成
②	0.7	完成	釜屋川の流下能力向上の事業を継続

現況(堀切川:下流部)

堀切川近鉄橋梁



堀切川河口付近



堀切川高潮水門



釜屋川合流点下流



現況(堀切川:上流部)

県管理区間上流端



国道23号上流



沼ノ井井堰下流



磯山井堰上流

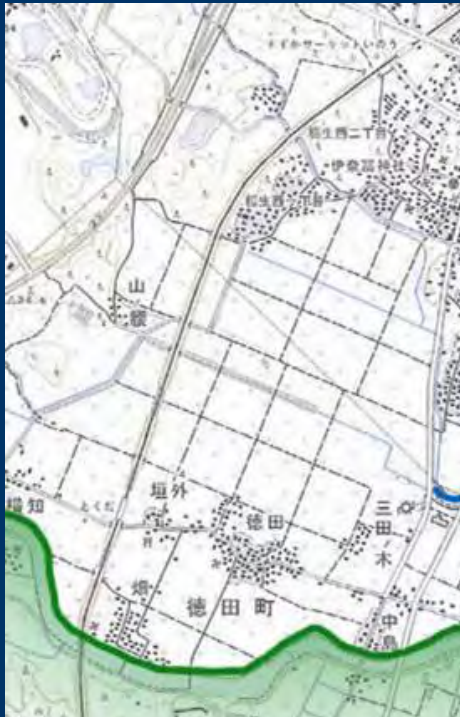


現況(釜屋川)

住居連たん区域(内水被害地区)



釜屋川合流点、釜屋排水機場



釜屋川水門上流 築堤区間



河川環境(植生)

【堀切川:上流】

- ・湛水区間となっており、植生はほとんどない



【釜屋川】

- ・植生はほとんどない



【堀切川:中流】

- ・堆積土砂により中洲が形成され、ヨシが繁茂



【堀切川:下流(感潮域)】

- ・植生はほとんどなく、干潮時は干潟が出現



河川環境(魚類)

【上流域】

- ・ギンブナ、コイが多い。
- ・非灌漑期には、ボラ、マハゼも確認
- ・メダカやウナギなどの重要な種を確認
- ・ブルーギル、オオクチバスなどの外来種も生息

メダカ(重要な種)



ウナギ(重要な種)



【下流域(感潮域)】

- ・スズキやボラなどの海水魚、ハゼ科を中心とした汽水魚が多い
- ・エドハゼ、マサゴハゼ、ウナギなどの重要な種を確認

エドハゼ(重要な種)



マサゴハゼ(重要な種)



ボラ



スズキ



【外来種(全域)】

- ・オオクチバス、ブルーギル、カダヤシなどを確認。

オオクチバス(外来種)



ブルーギル(外来種)



カダヤシ(外来種)



- 平成19年度に実施された調査では32種を確認。汽水域選好種が豊富。
- 重要な種は、エドハゼ、マサゴハゼ、ウナギ、メダカを確認。
- オオクチバス、ブルーギル、カムルチー、カダヤシなどの外来種も確認⁹。

今後の予定

平成21年9月（予定）

第1回流域懇談会

- ・ 河川及び流域の概要
- ・ 治水・利水・環境の現状



平成21年12月（予定）

第2回流域懇談会

- 整備区間の設定
- 整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定

平成21年10月（予定）

流域委員会

- ・ 整備区間の設定
- ・ 整備区間の治水・利水・環境の目標及び手法等の設定



平成22年2月（予定）

流域委員会

- ・ 河川整備計画原案の討議